



小笠原 良子  
(日本共産党)

マイナンバーカード取得に際し  
認知症の方や障害者への対応は

### 多種多様な申請サポートを実施

**問** マイナンバーカード取得促進のためにどのような人員の体制をとったのか。

**答** 市民課住民記録係8名が通常業務のほかに対応しています。このほかに、会計年度任用職員10名を雇用し、そのうち4名が出張申請のサポート等に当たっています。

**問** 健康保険証の廃止は、カード取得の事実上義務化との指摘が根強く、2024年までに保険証を廃止する方針は賛成しかねる。認知症の方や障害者などに対して、どのような対応をとっているのか。

**答** マイナンバーカードは本人の申請により交付されるものとなっていますが、認知症などの理由により自身で申請することが困難なケースも存在していることから、そうした方も申請の機会を得られるよう個別サポートや出張申請サポートといった多種多様な申請サポートを実施しています。

**問** 全国でマイナンバーカードに別人の情報がひも付けされる事例が出ているが、市の防止対策は。

**答** 当市のマイナポイント申請窓口での支援は、国が示しているマニュアルの手順に沿って、前の方の登録手続き後、一度ログアウトしてから登録手続きを行うなど適切に実施しており、これまで別人の情報がひも付けられた事例はありません。

**問** 幾つかの指定管理者から指定管理料をもう少し上げてほしいという声が届いている。指定管理者からのモニタリングで出た意見、要望への対応は。

**答** 適切な施設の維持管理が行われるよう、市と指定管理者で協議を行っています。



戸来 伝  
(柵の会)

相撲場の基本設計と実施設計の  
説明をする必要はなかったか

### 基本構想に沿った形のため 説明は行わなかった

**問** 相撲場の設計について令和4年3月22日の全員協議会以降説明がなく議会軽視ではないか。

**答** 予算計上をし議決をいただいています。

**問** 基本構想の説明以降に、基本設計と実施設計の説明をする必要があったのではないか。

**答** 基本構想に沿った形で実施設計まで進んでおり、ほぼ内容が変わっていないことから、説明は行いませんでした。

**問** 市長の中央病院の経営改善の覚悟を問う。

**答** 病院経営の改善については新病院建設以降、厳しい経営状況が続いていますが、経営改革検討委員会を設置し、いただいた提言をもとに改革を行いながら、「人・物・金」の経営資源を大切に活用しながら取り組んできました。その結果、現金ベースの黒字化から始まり、令和4年度は21年ぶりの純利益を計上できる見込みとなりました。令和5年度は公立病院経営強化プランを策定し、このプランの策定過程で、しっかりと議論をし、病院事業管理者と意思疎通を図りながら、病院経営の道筋をつけていきたいと考えています。

**問** 市長自身のリーダーシップについて、どのように分析し、評価しているか。

**答** 就任当初から「皆さんとつくる元気な十和田市」を公約に掲げ、当市の最上位計画となる第2次十和田市総合計画を策定し、各部の重点事業の進行管理をし、おおむね計画どおり実施できていると思っています。また、市民の命と財産を守るため、急を要する場面での確かな判断を下すなどの姿勢を大切にしながら行動してきました。リーダーシップの評価は市民の方にさせていただくものと認識しています。